

科目名		看護解剖生理学Ⅱ 体液・循環器系・呼吸器系（物質を運搬するしくみ）				DP4 DP6		看護高等課程	
学年	1 年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	27 時間	担当 教員	武田 玲子(6.5) 市川 豊子(14) 寺坂 和代(6.5)		
科目 概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、血液・循環器系・呼吸器系の解剖生理から物質を運搬するしくみを学ぶ。								
到達 目標	1. 体液、血液、リンパの異常について理解する。 2. 体に血液を送るしくみを理解することができる。 3. 呼吸の機能を担う諸器官のしくみと、ガス交換のはたらきについて学び、理解することができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1～3	体液		体液の組成、当量と当量濃度、浸透圧と等張液 膠質浸透圧				講義	武田	
	血液		血液の細胞成分、血漿、血液の異常、リンパ、浮腫						
			血液凝固、血液型						
4～6	呼吸器系の気管		呼吸系に属する器官、 鼻腔、咽頭、喉頭、気管及び気管支、肺、胸膜、縦隔				講義	寺坂	
	呼吸の生理		外呼吸と内呼吸、呼吸運動、呼吸数、換気量 肺活量、呼吸凌、血液ガス、呼吸の調節 異常な呼吸、酸素負債、発声						
7	試験		(1 時間)				試験	武田・ 寺坂（呼吸）	
8～13	心臓		心臓の構造、心臓壁に分布する血管 心臓に分布する神経				講義	市川	
	血管の種類と構造、循環		血管の種類と構造、肺循環の主な血管 体循環の主な血管（動脈系・静脈系） 体壁・上肢・下肢・頭部の血管系、胎児循環						
	心臓の生理		自動能と刺激伝導系、心臓周期、心音と心拍数 心拍出量、心電図、心筋収縮の特性 心臓機能の調節						
	循環の生理		血管の性質、冠循環、脳循環						
	血圧		動脈血圧、動脈血圧の測定、血圧の調節 血管収縮物質と血管拡張物質						
	リンパ系とリンパ組織		リンパ管、リンパ節、脾臓、胸腺						
14	試験		(1 時間)				試験		
評価 基準	武田（25 点）、寺坂（25 点）、市川（50 点）の合計 100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。								
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、ルーブリック評価、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 1 人体のしくみと働き 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									